

「2001年未来基金」助成案件 中間報告書

2000.8.25、26

# コンピュータと子ども！ 音楽創作コンペ 2000

コンピュータと子ども・音楽創作コンペ五周年 及びミレニアム記念

「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000」

～子どもが創り、表現する コンペ・表彰・上演～

# JSCME

URL <http://plaza7.mbn.or.jp/~jscme/index.htm>

E mail [jscme@bj.mbn.or.jp](mailto:jscme@bj.mbn.or.jp)

「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ2000」実行委員会

## 【プロジェクトの概要】

### テーマ

「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ2000」

～子どもが創り、表現する コンペ・表彰・上演～

### 活動期間

2000年4月1日 ~ 2001年3月31日

### プロジェクトの目的

コンピュータを用いた、子どもたちの多様な表現活動を発掘し表彰し、公にすることによって、教育におけるコンピュータ利用の活性化と表現の可能性を目指す。

### プロジェクトの対象者

小・中・高校生 及び教育関係者

## プロジェクトの機器及び環境構成

当初から会員相互の既存機器、及び短期レンタルによる活動に終始してきた為、プロジェクトとしては皆無である。

## プロジェクトの最終目的

- ・本コンペの実施と表彰、上演、作品集製作・配布
- ・学校教育内外の、コンピュータ等メディア活用の活性化
- ・マルチメディア表現を含む音楽活動の活性化

### 参考 昨年度（第四回）の入賞作品



#### 作曲A - 1部門

**最優秀** 清風南海高等学校2年（大阪）

・森本智志「WHITE LILAC あどけない一人の少女に捧げて」

**優秀** 青森県三戸郡三戸町立斗川小学校5年・牧奈津美「かねのきれいな曲」

\_\_\_\_\_ 神奈川県厚木市立森の里小学校6年

\_\_\_\_\_ ・花島友里恵 難波清枝「大きな行進」

\_\_\_\_\_ ・安田可奈子 斎藤康代「楽しき歌」

#### 作曲A - 2部門

**最優秀** 該当なし

**優秀** 神奈川県厚木市立森の里小学校6年

\_\_\_\_\_ ・西村祐思 長塚健太 古野佑典「スネーク」

\_\_\_\_\_ ・中島 翔 森田幸秀「ウォーターアイス」

\_\_\_\_\_ ・5年 \_\_\_\_\_ 向田 慧 横山 慧 島崎裕庸「天と地」

#### 作曲B部門

**最優秀** 該当無し

**優秀** 神奈川県厚木市立森の里小学校

・4年、5年 時乗良輔 松田瑛伍 「図形王国」

・6年 生頭智宏 柳沢優樹 「ブルン」

**マルチメディア部門**

**最優秀** 上越教育大学学校教育学部附属小学校2年

・吉村 汐七 「セナ2」

**優秀** 神奈川県厚木市立森の里小学校6年

・三田村達也 長塚健太 稲垣文二 「オリンピック」

**特別賞** 京都府立亀岡高等学校3年 ・重田沙織 「雪景色」

**学校賞** 青森県三戸郡三戸町立斗川小学校

... 授賞式コンサート 2000.1.7 東京・神楽坂エミール 於 ...

## 【プロジェクト内容】

### プロジェクトの背景と現在

日本コンピュータ音楽教育学会（JSCME）（1993年設立）は、音楽教育実践研究活動の一環として、コンピュータを用いた子どものための音楽創作コンペを計画し、毎年実行委員会を組織して1996年から継続している。

これは、大人サイドからのアプローチだけではなく、子どもたちの積極的な活動から、コンピュータを用いた活動の現状を知り、それを音楽教育を含めた『子ども文化』としてとらえることにより、より多面的な考察と研究の推進が可能になることを指向している。

もちろん、学校教育の中で生成された作品の応募が大半であるが、少ないながらも、子どもたちが学校を離れた活動から生まれた作品も含まれていて、学校現場だけではなく、コンピュータを用いた活動が家庭にも徐々に浸透していることがよくわかる。

例年、実行委員長は本学会から推薦された学会メンバーがその任に当たり、実行委員会メンバーも、多くは学会の有志が協力している。

今年のコンペは第5回を数え、それと併せてミレニアム記念として「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000」の開催準備を進行中である。また2年前から、その年の入賞作品を収録したCD-ROMを製作している。

本年は一つの節目の年でもあり、子どもたちにとっても出来る限りよい環境でのコンペの実施を実現したいと考えている。

また第1回から第5回までの作品をまとめ、受賞作品集として、ミレニアム記念作品集 CD-ROM (又は CD ブック) の制作およびテレビ会議通信システムを用いた入賞作品のレクチャーコンサートを計画している。

## 日本コンピュータ音楽教育学会

日本コンピュータ音楽教育学会 (JSCME) は、コンピュータによる音楽教育の普及と発展に寄与することを目的として、教育現場の指導者、音楽教育学者、作曲家、コンピュータ・オペレータ等、教育とコンピュータに様々な関わる者が会して 1993 年に設立された。

活動はコンピュータによる音楽教育の調査・研究 (実践研究・指導方法等を含む) コンピュータによる音楽教育の普及活動 (研究会等の計画・実施を含む) その他であるが、大きいものは、本コンペの他、教育現場の指導者を対象としたコンピュータの夏期研修会を実施している。

## プロジェクトの目的

コンピュータを用いた子どもたちの多様な表現活動をコンクールの形態をもって発掘し表彰し公にすることによって、教育におけるコンピュータ利用の活性化と子どもたちの表現の可能性を目指す。

また側面においては、コンクールの実施によって、教育実践の成果を明らかにし、音楽教育におけるコンピュータ活動の活性化を促すとともに、より発展的な方法論や実践活動を、教師や子どもたちとのコラボレーションによって可能にすることを目的とする。

つまり教育活動は、子どもと教師が共に創り上げていくものであることを前提として、子どもたちの可能性を求めるとともに、それらの成果や現象を指導者自身の実践に生かしていくことをも目指している。

## 期待される効果

第1回の「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ '96」から、今年第4回になる「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ '99」(コンペ表彰式コンサート

2000年1月7日(東京神楽坂エミール於)に至るコンペ入賞作品群は、現代の子どもたちのコンピュータを用いた創作・表現活動の、全国的な縮図というにふさわしい、子どもたちの真摯で熱い活動に溢れたものであった。回を重ねるに従って、コンピュータを用いた活動が子どもたちに広がっていることがよくわかる作品が数多く集まった。

2000年の本コンペによる、子どもたちのマルチメディア作品を含む多くの作品が集まることによって、より多くの子どもたちの生の活動が伝わり、その輪が広がり、それによって子どもたちの豊かな感性の育みにつながっていくことを確信している。

また今までの集大成とも言うべき、今回のコンペの入賞作品を含む作品集の制作は、コンピュータを用いた表現活動の強力な実践事例集として、子どもたちにも大人にも、活動のための良い資料として、またある時は指針として活用できるものとする。

### 活動の具体的内容

- ・「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000」実行委員会の組織作り、及び実行委員会会議の開催。
- ・コンペ実施計画案、募集要項の作成。
- ・関係メディア、DM、HP等によるコンペ実施に関するインフォメーションの開始。
- ・応募受け付け開始。
- ・応募締め切り。
- ・予備審査会および本審査会の実施。
- ・新聞雑誌等各メディアによる審査結果発表。(本人には直接文書発送)
- ・賞状等関係書類等の作成。入賞作品集の制作開始。
- ・受賞式コンサートの開催。(例年都内のホールで実施)
- ・入賞作品集の完成。関係機関、個人に配布(郵送等)。
- ・事務処理等の最終チェック。
- ・反省会と会計報告、およびコンペ実行委員会の解散。

### 【実施体制】

## 「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ2000」実行委員会の組織

|                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 実行委員長 1        | 伊藤実 (作曲家・音楽教育家)                |
| 副委員長 1         | 小林田鶴子                          |
| 事務局長 1         | 田村幸雄                           |
| 会計 1           | 加藤孝司                           |
| 渉外 2           | 谷中優、延岡純一                       |
| 審委員会 [最終審査員 3] |                                |
| 審査委員長          | Boyko STOYANOV (作曲家・指揮者/ブルガリア) |
| 審査員            | 八木ヨシオ (石彫家)                    |
|                | 吉田孝 (国立教育研究所芸術教育研究室長)          |
| 予備審査会          | 5名程度                           |
| 表彰式コンサート・スタッフ  | (8名)                           |
| 会計監査 2         | 吉村治広、山本真弓                      |
| ・実行委員会会議       |                                |
|                | 実行委員長、副委員長、事務局長、会計、渉外、         |
|                | 予備審査員 (1名以上)                   |
|                | 表彰式コンサート・チーフスタッフ (1名)          |

## スケジュール

### 2000年

|        |   |
|--------|---|
| 4月     | 実行委員会の組織作り、及び実行委員会会議の開催。<br>コンペ実施計画案、募集要項の作成。 |
| 5月     | 関係メディア、DM、HP等によるコンペ実施に関するインフォメーションの開始。実行委員会。  |
| 6月1日   | 応募受け付け開始。                                     |
| 7月～9月  | コンペ情報宣伝活動、審査会、表彰式関係準備開始。<br>実行委員会。            |
| 8月     | 前回までのコンペ入賞作品の展示会、および上演会の開催。                   |
| 10月31日 | 応募締め切り。                                       |
| 11月中旬  | 予備審査会。実行委員会。                                  |
| 12月上旬  | 本審査会。実行委員会。                                   |

12月 新聞雑誌等各メディアによる審査結果発表。  
(本人には直接文書発送)  
実行委員会。  
賞状等関係書類等の作成。入賞作品集の制作開始。

## 2001年

1月 受賞式コンサートの開催(都内のホール現在未定)。  
2月 入賞作品集の制作作業。  
3月 入賞作品集の完成。関係機関、個人に配布(郵送等)。  
事務処理等の最終チェック。  
実行委員会。反省会と会計報告、次年度の計画案。  
コンペ実行委員会の解散。

## プロジェクト活動進行状況

- ・実行委員会の組織作り及び実行委員会会議の開催。
- ・コンペ実施計画案、募集要項の作成と配布。
- ・関係メディア、DM、HP等によるコンペ募集のインフォメーションの開始および応募受け付け。  
教育音楽小学版8月号、教育音楽中学高校版8月号、パソティア8月号、9月号、New教育とコンピュータ9月号、その他公募ガイド等の月刊誌に掲載。  
実行委員会。
- ・予算計画に沿った機器(プロジェクター、PA機器等)ソフトの購入、及びHP開設、通信、その他活動に関わる諸経費など、計上予算の活用を進行中。
- ・コンペ情報宣伝活動、審査会、表彰式関係計画の見直し、及び準備を進行中。

## コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000

《第五回》

子どもが創り表現する コンペ・表彰・上演

<子どもたちの作品を通して、子どもたちの創造的な音・音楽の世界を再認識し、育むために>

### 【募集部門】

音・音楽部門

**作曲A1** = 節があり、リズムなどが付加されているもの(作詞・作曲含む)『従来のドレミの音楽』

**作曲 A2** = 節だけのもの（作詞・作曲含む）

**作曲 B** = 節のないもの（音の響きだけのもの等）『新しい音・音響などをめざした作品等』

作曲 Aに含まれない作品、部門の不明な作品は B で応募のこと。

マルチメディア部門 音・音楽と画像 = サウンド・ビジュアル

### 【募集要項】

- ・必ずコンピュータを用いたオリジナルの作品であること。アレンジものは不可とします。
- ・作品は3分以内とし、マルチメディア作品には必ずオリジナルの音や音楽が含まれるものとします。時間内に収まらない作品は、審査の対象からはずれることがあります。
- ・作品は、ビデオテープ（VHS・8mmテープのみ）、MOディスク、zipディスク、フロッピーディスク、音楽テープ（アナログ、デジタル可）いずれかに記録して、応募用紙とともに送ってください。
- ・音・音楽部門は必ずデータディスクとともに音楽テープ（オリジナル・サウンド）を添付してください。なお選考の過程で他の記録メディアで再度送っていただく場合があります。
- ・作品及び作品に使用する素材については、著作権を侵害しないようにしてください。万一、著作権の侵害があると見なされた場合、主催者側は、一切の責任を負いかねます。
- ・作品は原則として返却いたしません。複製したものを送りください。
- ・応募用紙は必ず作品1点につき、1枚ずつ添付してください。
- ・複数の応募の場合、必ずクラブ、クラス、学校等で取りまとめて送りください。
- ・作品の著作権は移動せずに作者に帰属するものとします。ただし、作品集としてCD-ROM等に収録して、教育関係機関等への配布や、出版物等に添付したり、イベント・講習会等で配布する場合がありますのでご了承ください。（ご応募いただいた時点で承諾したものとします）第一回からのCD-ROMでの記念作品集の制作を計画しています。

**【応募締め切り】** 2000年10月末日（当日消印有効）

**【賞】** 最優秀賞（各部門1点） 優秀賞（数点） 入選者には賞状及び記念品とコンサート上演。

**【発表】** 12月未までに各関係専門誌・新聞紙上にて発表（入選者には個別に連絡します）

**【最終審査員】** ・ボイコ・スターノフ（作曲家・指揮者・ピアニスト/ブルガリア）

・吉田 孝（国立教育研究所芸術教育研究室長）

・八木ヨシオ（彫刻家）

**【表彰・上演】** 2000年1月 都内のホールを予定

**【主催】** 『コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000』実行委員会

**【共催】** 日本コンピュータ音楽教育学会（JSCME）

**【協賛】**（財）日本玩具文化財団（未定） 他

**【助成】** 2001年未来基金

**【お問い合わせ・作品送付先】** FAX.0462-47-5505 田村 tamura@tanzawa.or.jp

(JSCME 本部) taninaka@dc.mbn.or.jp

〒243-0213 厚木市飯山 2855-6 田村方

「コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000」実行委員会事務局宛

応募用紙を請求の際は、宛名を書いた返信用封筒に 90 円切手を貼ったものを同封して下さい。または E-mail もしくは A4 用紙を縦にして横書き、1.応募部門、2.小中高 の別、学年、3.製作者の氏名(ふりがな)、4.学校名または団体名(ふりがな)、5.郵便番号、住所(ふりがな)、電話・FAX 番号、6.作品タイトル(ふりがな)、作品の概要、7.使用ハード、ソフト、8.添付物を明記して下さい。(または裏面の応募用紙をご使用下さい)

## コンピュータと子ども・音楽創作コンペ 2000 応募用紙

応 募 部 門                      作曲 A1                      作曲 A2                      作曲 B                      マルチメディア

学                      年                      小                      ・                      中                      ・                      高(いずれかに                      をつける)                      年生

氏                      名                      フ                      リ                      ガ                      ナ

学校名または団体名                      フ                      リ                      ガ                      ナ

連絡先住所・電話番号(個人応募の場合は自宅・団体応募の場合は団体の連絡先)

〒                      フ                      リ                      ガ                      ナ

Tel.                      FAX.

作品タイトル                      フ                      リ                      ガ                      ナ

作品の概要

使用ハード

使用ソフト

その他の添付物